



YRS-2500
YRS-1500

簡易接続・操作ガイド

J

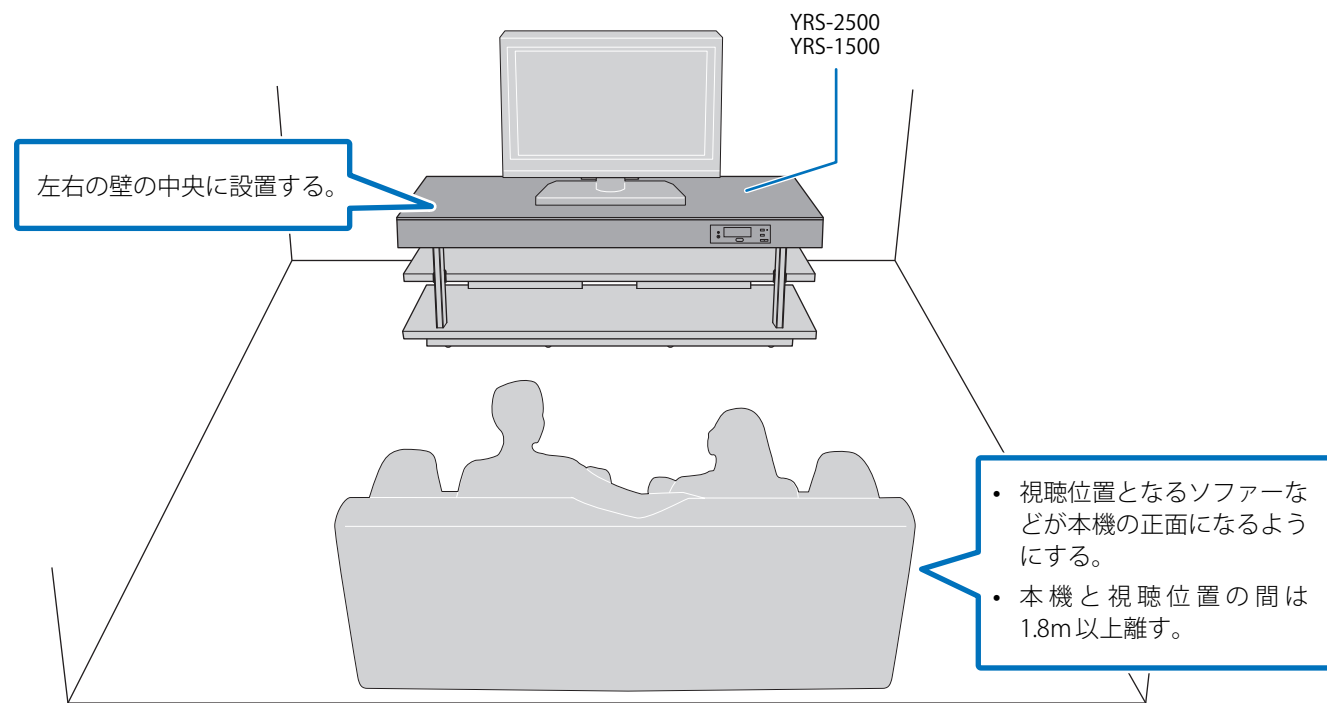
設置

接續

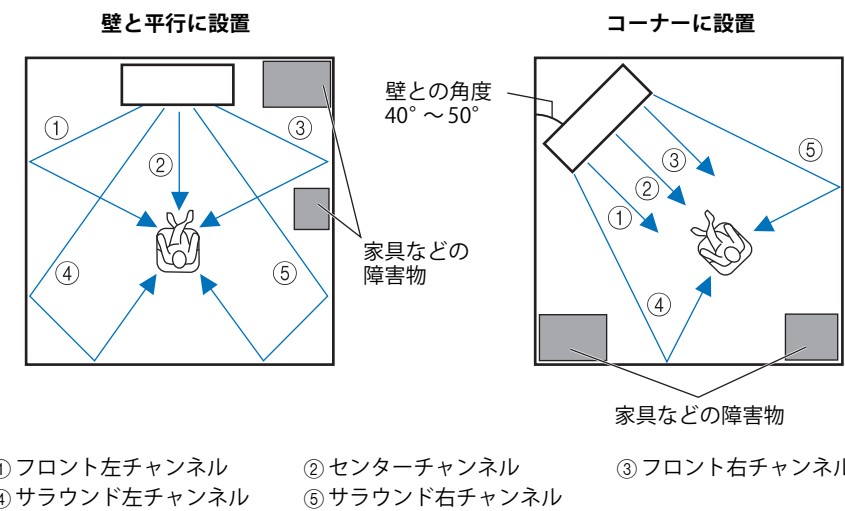
設定

再生

YRS-2500 / YRS-1500 を設置しましょう

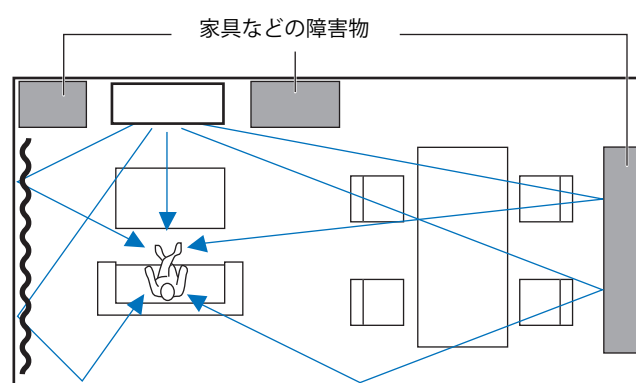


本機は右図のように音声をビーム化して出力し、壁に反射させてサウンドを作り出します（矢印は5チャンネル出力時の音声ビームと各ビームの経路を表しています）。効果的なサウンド感を得るため、ビームの経路と家具などの障害物が重ならない場所に右図のように本機を設置してください。



リビングへの設置例

- ・ 通常テーブルなどは音声ビームを通すため、障子にはなりません。また、壁に設置した戸棚などは音を反射します。
- ・ 右図のような部屋の場合、自動設定 (※取扱説明書 21 ページ) の後に右チャンネルの位置を調整することですらに正確なサラウンド感を得ることができます。(※取扱説明書 45 ページ)
- ・ カーテンは音を吸収するため、開けたときと閉めたときで音の特性が変わります。メモリー機能を使うことで、それぞれの状態に最適な設定を保存できます。(※取扱説明書 37 ページ)



設置

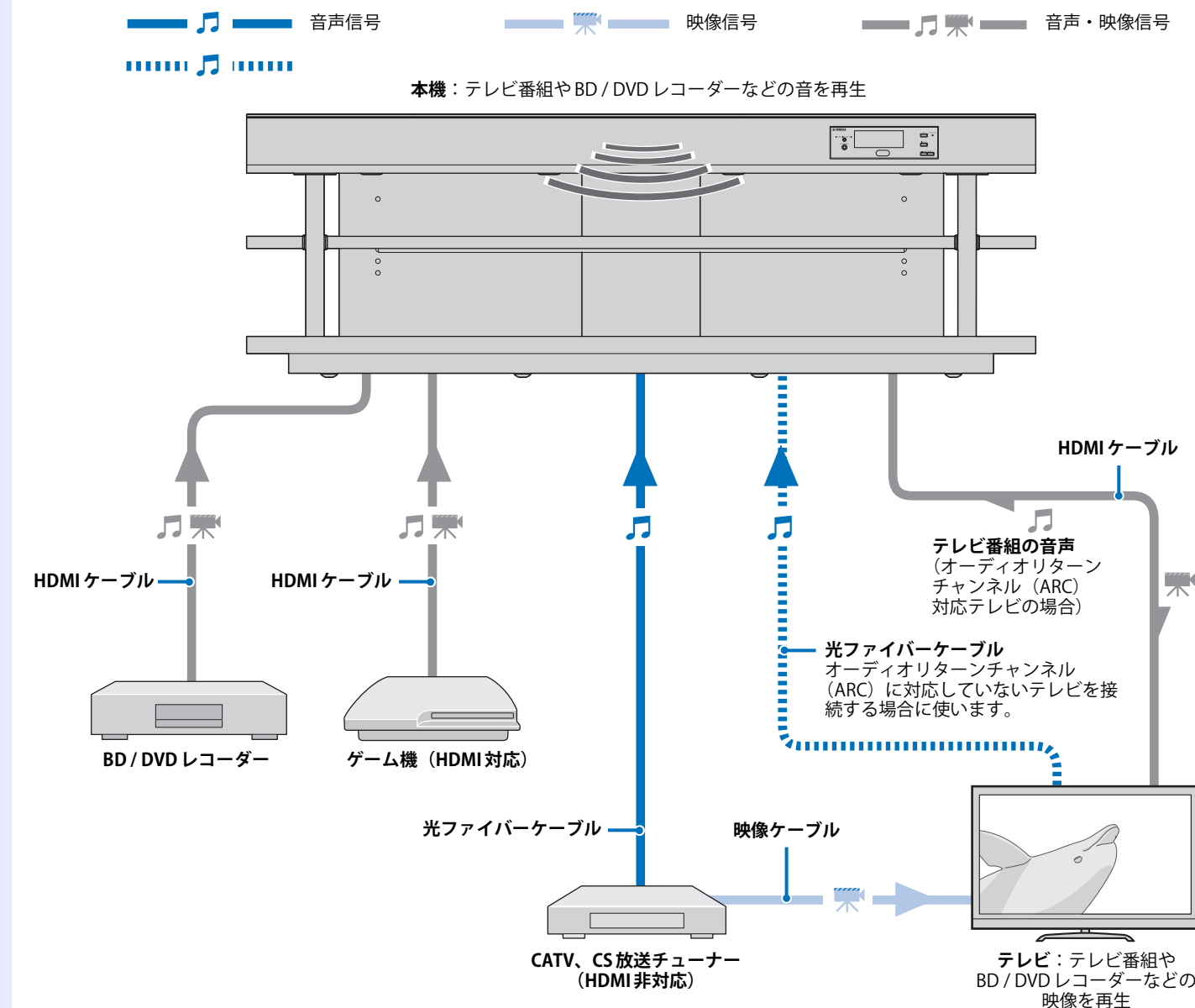
接続

▶ 設定

➤ 再生

YRS-2500 / YRS-1500 を接続しましょう

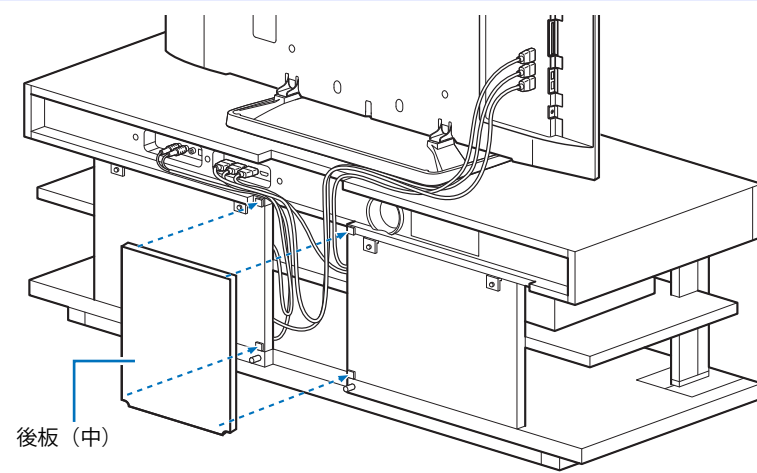
本機にテレビとブルーディスクレコーダーやゲーム機などを接続すると、音と映像は下図のように伝達されます。



- ・ 電源コードは、すべての接続が完了してから接続してください。
- ・ ケーブルのプラグや端子に損傷をあたえる原因となりますので、プラグを差し込む際に強い衝撃をあたえないようにしてください。

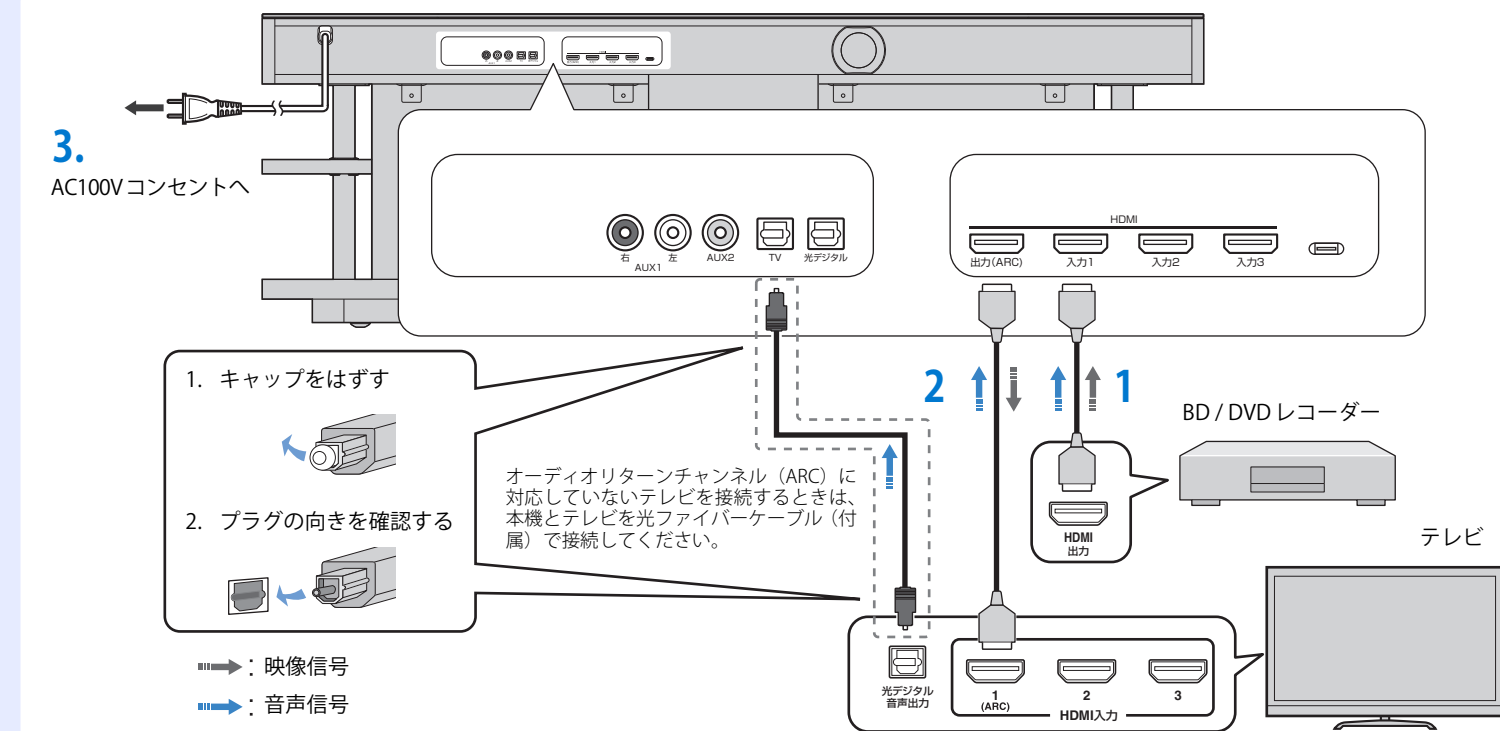
■ ケーブルの処理について

再生機器をラックに設置する場合は、本機の後板（中）をいったん取り外してから接続してください。ケーブルは本体の切り欠きに通し、後板（中）を取り付けます。長すぎるケーブルも後板（中）と本体とのスペースに収納できます。



■ テレビ、BD / DVD レコーダーを接続する

ケーブルの接続は以下の順番で行ってください。ゲーム機など、他の再生機器を接続する場合は「取扱説明書」の17ページを参照してください。



1. HDMI ケーブル (別売)

BD/DVDレコーダーのデジタル映像・音声を本機に入力します。

2. HDMI ケーブル (別売)

BD / DVD レコーダーのデジタル映像をテレビに映します。

3. AC100V コンセントへ

 ヒント

オーディオリターンチャンネル（ARC）対応のテレビの場合

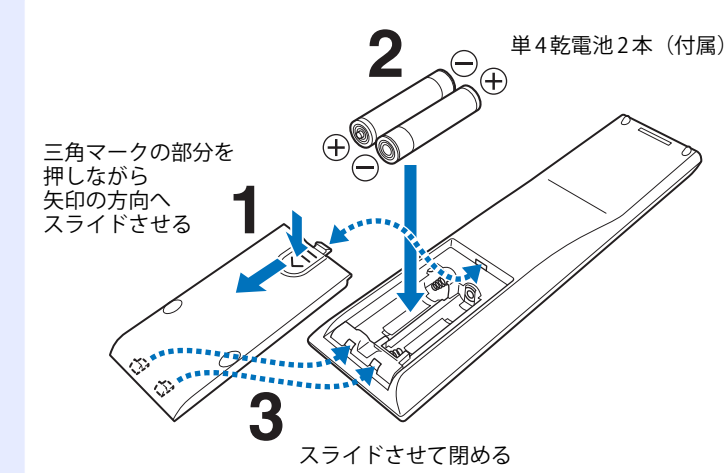
- HDMI ケーブルはテレビのオーディオリターンチャンネル対応端子（「ARC」などの表示のある端子）に接続してください。
- オーディオリターンチャンネル（ARC）を有効にするには、本機のHDMIコントロール機能をオンにしてください。（**取扱い説明書** 48ページ）

オーディオリターンチャンネル（ARC）とは？

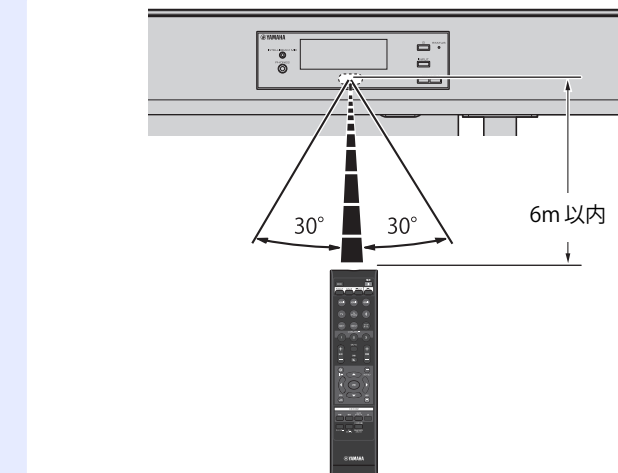
テレビの出力するデジタルオーディオ信号を、HDMI ケーブルを通して本機へ伝送する機能です。この機能により、テレビから本機へ接続する光ファイバーケーブルを省略することができます。

■ リモコンを準備する

電池を入れる



操作範圍

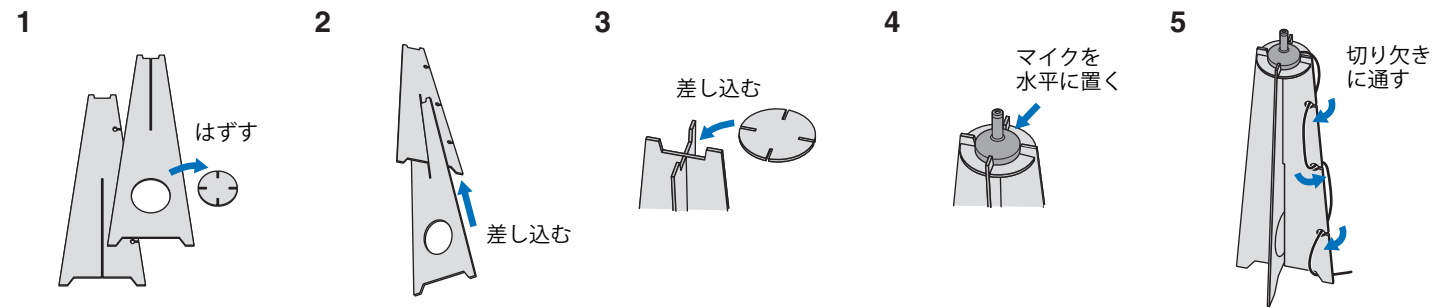


最適なサウンド効果を自動で設定しましょう

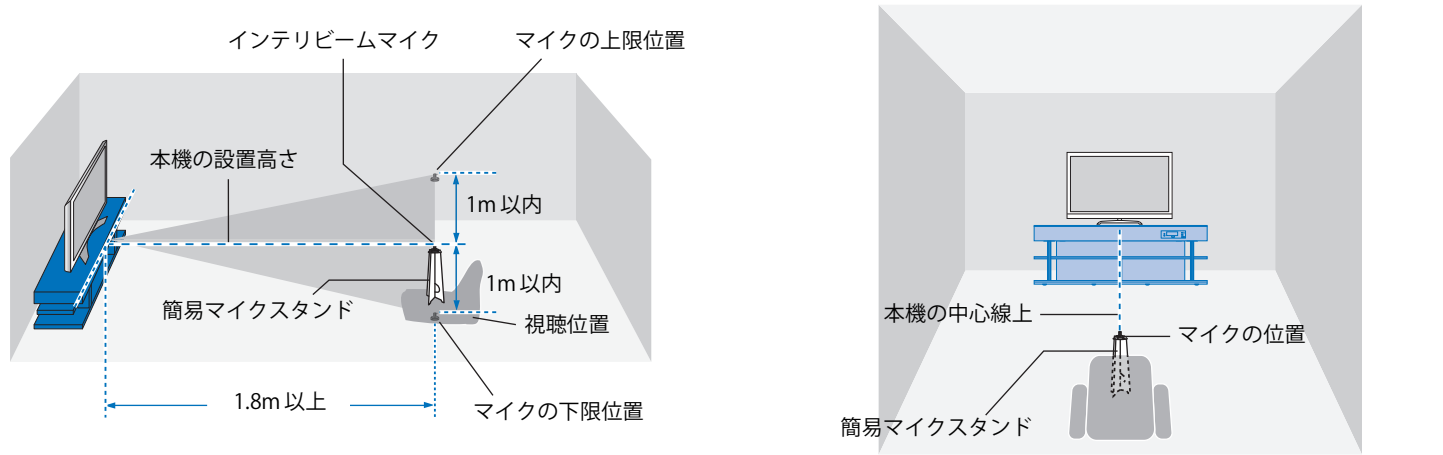
付属のインテリビームマイクを使用してリスニングルームの環境を測定し、各チャンネルの設定を自動的に調節します。測定中は大きなテスト音が出力されます。小さなお子様がいる場合や部屋に入ってくる可能性がある場合は、自動設定機能を使用しないでください。

1. インテリビームマイクを実際に視聴する位置に設置する

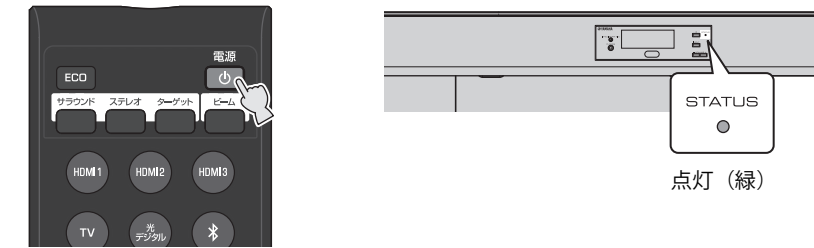
下図のように付属の簡易マイクスタンドを組み立て、インテリビームマイクを上置いて使用します。インテリビームマイクは傾かないよう、水平に置いてください。



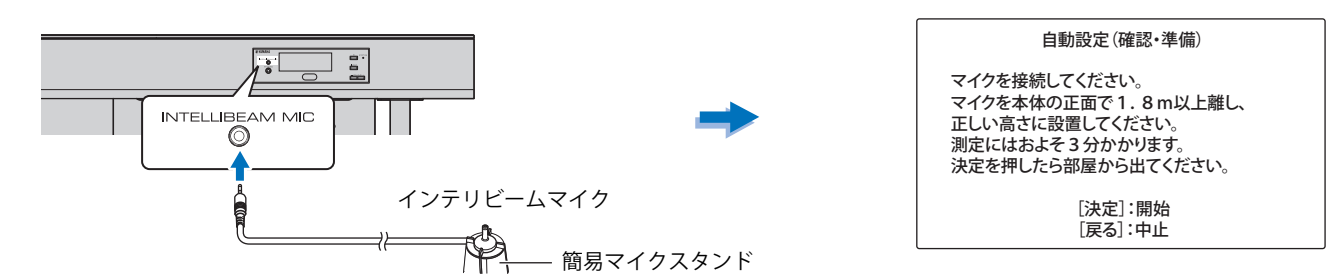
簡易マイクスタンドを利用し、マイクをできるだけ視聴時の耳の高さとなる位置に設置してください。ソファの背もたれなど、マイクと壁の間に障害物（壁に接している家具は除く）がある場合には、障害物を移動したり、マイクをより高い場所に設置してください。



2. 電源（）キーを押して、本機の電源をオンにする




4. インテリビームマイクを本機のインテリビームマイク端子に接続する



5. 部屋の環境ができるだけ静かに保たれていることを確認する

正確な測定・設定のため、エアコンなど動作音が発生する機器がある場合は、電源を切ってください。


ご注意

次の手順を実行したあと、部屋から出てください。測定開始後に部屋の中にとると、ビーム経路を遮ってしまったり、マイクが声や音を拾ってしまったりして、測定が正しくできないことがあります。部屋の外に出るときは、本書も一緒にお持ちください。測定は開始から終了まで約3分かかります。その間は部屋の外でお待ちください。測定中に自動設定を中止したい場合は、リモコンの戻る（）キーを押してください。

6. 決定キーを押して測定を開始し、10秒以内に部屋の外に出る


測定中の項目に従って、画面が自動的に切り替わります。測定が終了すると終了音（チャイム音）が出力され、測定結果画面が表示されます。

※ヒント

- 本機の設置位置により、測定結果表示画面は異なります。
- エラー音（ブザー音）が鳴り、画面にエラーメッセージが表示された場合は、「エラーメッセージが表示されたら」（ 取扱説明書 25 ページ）を参照して問題を解決してください。

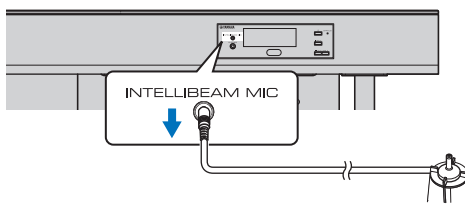
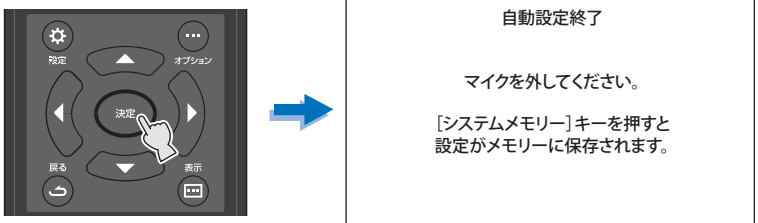
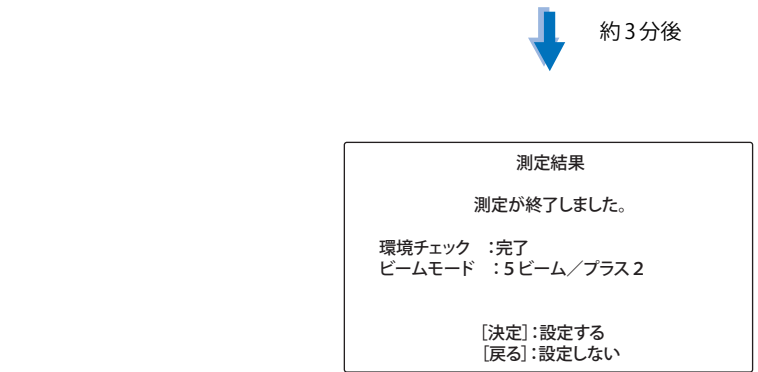
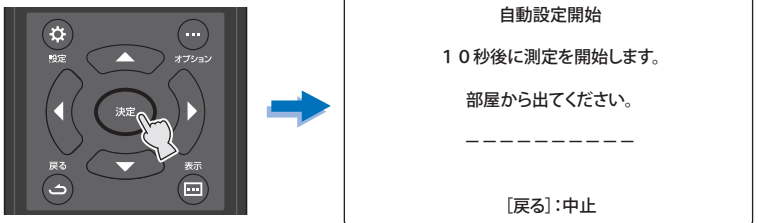
7. 決定キーを押す

測定結果を本機に設定し、保存します。

- システムメモリー 1、2 または 3 キーを押して、複数の測定結果を保存することもできます（ 取扱説明書 23 ページ）。
- 測定中に環境ノイズを拾った場合は、「自動設定終了」画面に再設定をおすすめするメッセージが表示されます。決定キーを押すと測定を開始します。

8. インテリビームマイクを外す

インテリビームマイクは熱に弱いため、高温になる場所（AV機器の上など）や直射日光が当たる場所を避けて保管してください。



再生しましょう

付属の「サウンド確認用 DVD」を再生して、正しく接続・設定されているか確認します。ここでは、表面の「テレビ、BD/DVD レコーダーを接続する」のように接続した場合を例にとり、説明します。

1. 電源（）キーを押して、本機の電源をオンにする

2. テレビと BD / DVD レコーダーの電源をオンにする

3. HDMI1 キーを押して BD / DVD レコーダーを選ぶ



4. テレビの入力を「HDMI 入力 1」に設定する

5. BD / DVD レコーダーで付属のサウンド確認用 DVD を再生する

6. 音量（+ / -）キーを押して、音量を調節する

7. シネマ DSP キーを押して、お好みのサウンドに設定する（ 取扱説明書 29 ページ）

※ヒント

再生されない場合は

- 本機と BD / DVD レコーダーの接続を確認してください。
- BD / DVD レコーダーの音声出力設定がデジタル音声出力（ビットストリーム）に設定されているか確認してください。
- テレビの入力が本機からの入力になっているか、確認してください。

テレビを視聴する

1. テレビのリモコンで放送局を選ぶ

2. TV キーを押す



※ヒント

- テレビから音が出ている場合は、テレビの音声出力先の設定をテレビ以外に設定してください。詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビと本機を連動させる
HDMI コントロール（リンク）機能に対応したテレビを使用している場合、テレビのリモコンで本機をコントロールすることができます。設定については「取扱説明書」の 26 ページをご覧ください。

Bluetooth 機器の音楽を聴く

スマートフォンやデジタル音楽プレーヤーなどの Bluetooth に対応した機器の音声を、ワイヤレスで再生することができます。ご使用の際には、Bluetooth 対応機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

1. リモコンの キーを押す

入力が Bluetooth になります。



2. 対応機器側の Bluetooth 機能をオンにして、ペアリング操作を行う

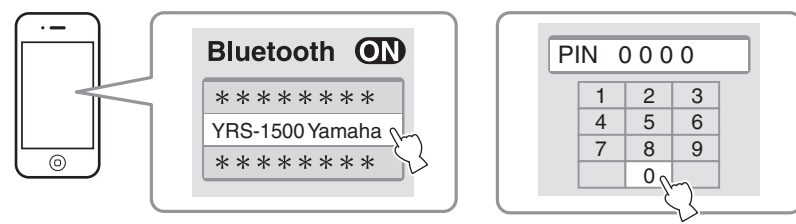
対応機器により操作は異なります。お使いの機器の取扱説明書をご確認ください。

※ヒント

- 本機と対応機器の距離が 10m の範囲内で行ってください。
- ペアリングは、本機と対応機器を初めて接続するときのみ必要です。

3. 対応機器側で Bluetooth 機器のリストが表示されたら、「YRS-2500 Yamaha」または「YRS-1500 Yamaha」を選ぶ

パスキー（PIN）の入力が必要な対応機器は、数字の「0 0 0 0」を入力します。

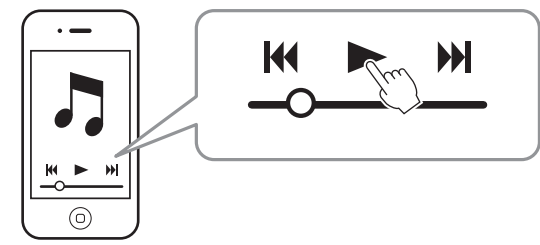


対応機器側に 、または接続完了メッセージが表示されたら、ペアリングは完了です。

4. 対応機器側で曲を再生する

※ヒント

前面ディスプレイには BLUETOOTH または機器の名前を表示します（英数字以外は「—」を表示します）。



スマートフォン/タブレット用コントロールアプリ HOME THEATER CONTROLLER のご案内

専用アプリ HOME THEATER CONTROLLER を使えば、お使いのスマートフォンやタブレットから、電源の OFF、入力の切り替え、ボリューム調節などの基本操作、サウンドプログラムの選択など、YRS-2500 / YRS-1500 をより直感的に、より快適にお使いいただけます。

- iOS 5.1.1 以降がインストールされた iPod touch（第 4 世代以降）/ iPhone 3GS 以降 / iPad または Android OS 2.3.3 以降がインストールされた Android デバイスが必要です。
- 本アプリは Bluetooth 通信を使用します。
- アプリのダウンロード、最新の情報については、App Store または Google Play に「HOME THEATER CONTROLLER」を検索してください。
- Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- iPad、iPhone、iPod、iPod touch は、米国およびその他の国々で登録されている Apple Inc. の商標です。iPhone 商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。

本機をさらに活用する方法については、付属の「取扱説明書」をご覧ください。